

I. 神奈川県内 d. イベント記録堆積物 (3) 衣笠断層 (岩戸トレンチ) 露頭剥ぎ取り標本

標本番号 KPM-NP 60

標本名 衣笠断層 (岩戸トレンチ) 露頭剥ぎ取り標本

大きさ 幅 2.45 m, 高さ 1.45 m

重量 9.5 kg

形状・展示・収納状況 薄い絨毯状、短辺を軸に巻いて
大型移動棚に収蔵

採集地 神奈川県横須賀市岩戸

緯度・経度 N35°13'49", E139°40'58"

標高 60 m

露頭の種別と現状 トレンチ調査による人工露頭、埋
め戻し消失

露頭面の向き、傾斜 西向き (トレンチ東側法面)、
傾斜 60°

走向・傾斜 不明

堆積物の種別 海成層 (豆子層) および岩戸トレンチ F 層、E 層

年代 E1 層 2780 ± 40 y.B.P.、E2 層 2860 ± 40 y.B.P.、F 層
13620 ± 120 y.B.P. (横須賀市緑政部, 1999)

採集作業者 株式会社アイ・エヌ・エー

採集日 1998 年 7 月

関連文献等

横須賀市緑政部 (1999) 平成 10 年度 衣笠断層調査
委託成果報告書。

横須賀市 (2000) 横須賀市の活断層. 59p.

解説 三浦半島南部に位置する衣笠断層群について、
その詳細位置、活動時期の履歴を明らかにするため
に、横須賀市が 1998 年に横須賀市平作と岩戸にお
いてトレンチ調査を実施した。

本標本は、岩戸トレンチ 2 の東側面に現れた断層
(FE1 断層) 付近の剥ぎ取りである。FE1 断層付近の
剥ぎ取りであるという情報以外、作業時の記録 (剥
ぎ取り範囲の写真等) が追跡できなかったため、ト
レンチ法面における詳細な剥ぎ取り範囲が不明であ
った。本標本に明瞭に、横須賀市緑政部 (1999)、横

須賀市 (2000) のトレンチ写真やスケッチと本標本
を比較することで、地すべり面、FE1 断層、E1 層の
境界線の一部がトレースできる。

FE1 断層が E1 層 (礫層)、E2 層 (礫混じりシルト)、
F 層 (シルト) を変形させている。断層を挟み左側
は基盤の豆子層となる。トレンチでは下部に矢部層
が露出しており、それにしたがえば本標本の最下部
右部が矢部層となる。最上部右側には斜めに伸びる
明瞭な境界線があり、これは地すべり面にあたる。

記録者 田口公則

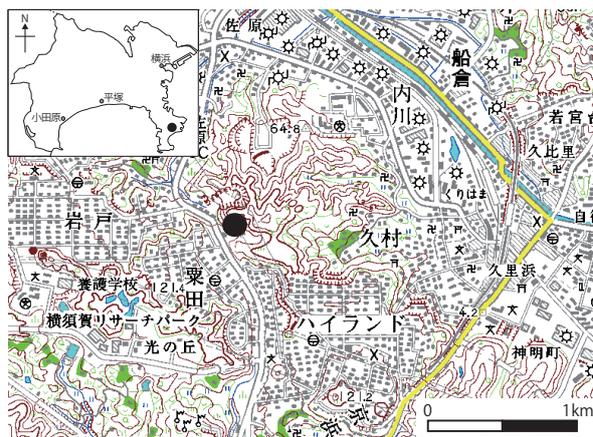


図 1d-3-1. 採集地点 (国土地理院発行の数値地図 50,000 (地図
画像)「埼玉・東京・神奈川」を使用)。

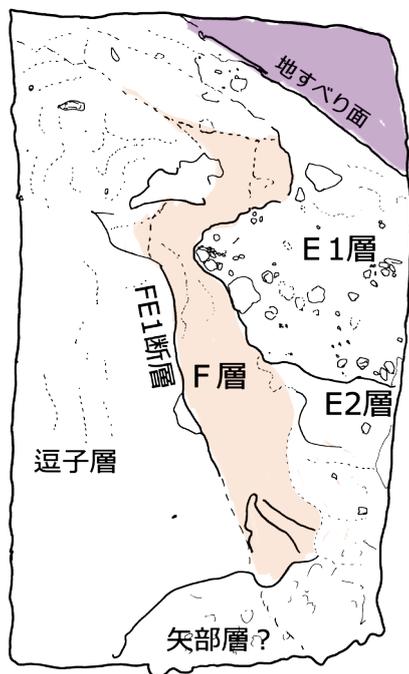


図 1d-3-2. 剥ぎ取り標本のスケッチ (左, 田口原図) と写真 (右)。